

【災害用伝言ダイヤル171】

震度6弱以上の地震発生時、被災地に向けての通話がつながりにくい状況になった場合、利用可能となります。

安否情報の確認

災害時は、電話がかかりにくくなります。家族間の連絡は、電話ではなく、別の手段を利用しましょう。また、その際は次の点に注意しましょう。

● 公衆電話は、比較的つながりやすいので、近所の公衆電話の場所を確認しておきましょう。

● 被災地にかけるより、遠隔地にかけた方がつながりやすいため、遠隔地の親戚に各自が連絡を入れて情報を集約してもらうことも有効です。

◆災害用伝言ダイヤルの使用法

【災害用伝言ダイヤル171】

災害時のみ利用できるNTTのサービスです。※サービス開始は、テレビ・ラジオ等で通知されます。毎月1日は体験利用ができます。

伝言の録音	伝言の再生
171 → 1 → 被災し-た家の-電話番号 → 伝言を入れる (30秒以内)	171 → 2 → 被災し-た家の-電話番号 → 伝言を聞く
ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外局番からブッシュする。	ガイダンス(説明)がながれます。被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外局番からブッシュする。

※携帯電話では、「災害用伝言板サービス」も利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。※災害後、緊急でない電話はなるべく控えましょう!

※携帯電話の災害用伝言板は、災害発生時に被災地域の方が携帯電話各社のパケット通信サービスを利用して、ご自身の安否情報などの情報を登録することができるサービスです。登録された安否情報はインターネット経由で全国どこからでも確認してもらうことが可能です。ご家庭でこれらのサービスの使い方を確認しておき、突然の災害に備えましょう。(各携帯電話会社のトップページからお入りください。)

